

平成29年死亡災害一覧表 (12月末現在)

富山労働局

番号	発生日	業種	起因物	事故の型	年代	経験年数	災害発生状況
1	1月	漁業	その他の乗物	おぼれ	50歳代	1年未満	漁港沖約1.5キロメートルで天候悪化により定置網漁を中止し帰港の準備をしていた漁船(総トン数14.92トン)において、運転室右舷で片付け作業を行っていた被災者が、強い横波を受け左舷が持ち上がった衝撃により海中に転落し、その後救助され病院へ搬送されたが死亡した。
2	2月	一般貨物自動車運送業	締固め用機械	墜落、転落	40歳代	22年	コンバインドローラー(2.5t)をトラックの荷台上に乗せる作業中、当該ローラーが荷台上の左側に寄りすぎはみ出したため、バランスを失い荷台左前方から転落し、同ローラーごと転落した運転手はその下敷きとなり死亡した。
3	2月	旅館業	通路	転倒	60歳代	1年	ロッカー室のソファで意識のない状態で発見された被災者が、救急車で病院に搬送されるも、後頭骨骨折、脳挫傷により9日後に死亡した。
4	4月	その他の建築工事業	作業床、歩み板	墜落、転落	30歳代	10年	小学校校舎解体工事現場において、養生設備解体作業中、外部足場とペントハウスを繋ぐ水平控え(直径5cmの単管)を渡ってペントハウス屋上から2.3m離れた外部足場へ移動していて、バランスを崩し約19m下の地上まで墜落し死亡した。
5	4月	一般貨物自動車運送業	起因物なし	その他	60歳代	10年	恒常的な長時間労働による過重労働により自宅において心停止となり死亡した。過重負荷を原因とする虚血性心疾患による業務上災害として認定された。
6	6月	土地整理土木工事業	不整地運搬車	墜落、転落	60歳代	30年	高さ約2メートルの土砂の仮置き場斜面において、不整地運搬車の掘削土砂の排土作業中、傾き浮き上がりそうになった同不整地運搬車の運転席から離れようとした被災者が、つまづいて地面に墜落し、頸髄損傷等により4ヵ月後に死亡した。
7	6月	一般貨物自動車運送業	乗用車、バス、バイク	交通事故(道路)	50歳代	28年	センターラインを越えた乗用車が走行車線に復すハンドル操作を誤り走行車線側の側壁に接触し、その弾みで再びセンターラインを越え、対向車線を走行する大型トラックに衝突したことから、衝突された大型トラックがセンターラインを越えて対向車線の側壁に衝突し、同大型トラックの運転者が死亡した。
8	6月	その他の土木工事業	掘削用機械	はさまれ、巻き込まれ	60歳代	27年	地均し作業を行っていたドラグショベルが作業位置を変えるため上部旋回体を90度右旋回したうえで右方向に横行したところ、その横行経路上において法面養生用シートの撤去作業を行っていた被災者がドラグショベルの履帯に轢かれ死亡した。
9	8月	病院	はしご等	墜落、転落	80歳代	60年	庭木の剪定作業を行っていた被災者が、はしごの高さ4メートルの箇所から道路上に墜落し死亡した。
10	10月	その他の金属製品製造業	金属材料	崩壊、倒壊	40歳代	1年	門型クレーンを用いて4tトラック荷台からH鋼(H482×300×11×15、長さ6600、重量約750kg)を荷下ろしするための吊り荷の段取り作業中、荷台に上ろうとした被災者が、被災者側に崩れたH鋼の下敷きになり、心臓破裂により死亡した。
11	10月	土地整理土木工事業	整地・運搬・積込み用機械	激突され	60歳代	28年	ブル・ドーザー(機体重量3.65t)を用いて整地作業を行っていた被災者(運転者)が、勾配11度程度の仮設通路において、当該ブル・ドーザーの履帯の下敷きとなり死亡した。